

リチウムイオン電池に関連した火災の原因と対策

近年、スマートフォンやモバイルバッテリー、コードレス掃除機など、リチウムイオン電池を搭載した製品の普及が進み、私たちの生活に欠かせないものとなっています。しかし、その一方で、リチウムイオン電池から出火する火災も増えています。

市内におけるリチウムイオン電池に関連した火災件数は、過去 5 年、年間 1 ～ 2 件で推移していましたが、令和 7 年 1 月から現在まで、すでに 5 件の火災が発生しています。

1 リチウムイオン電池を使用した主な製品

スマートフォン、モバイルバッテリー、ハンディファン、ワイヤレスイヤホン、パソコン、デジカメ、ビデオカメラ、コードレス掃除機等

2 主な火災原因

- ・ 落下
- ・ 高温下に放置
- ・ リチウムイオン電池自体の構造不良

3 対策

- ・ リチウムイオン電池を搭載した製品については、非純正品の充電器やバッテリーが、その製品に対応しているか確認する。
- ・ メーカーの問い合わせ先の記載がない製品や、販売店やメーカーの連絡先に電話が繋がらない製品を購入する際は、慎重に検討する。
- ・ リコール情報をメーカーに確認する。
- ・ 膨らみや変形など、異常を感じたら使用しない。
- ・ 高温下に放置しない。
- ・ 充電回数を取扱説明書で確認する。

担 当 予防課予防調査係
担当者 女部田
電 話 027-220-4503（内線 81-1332）